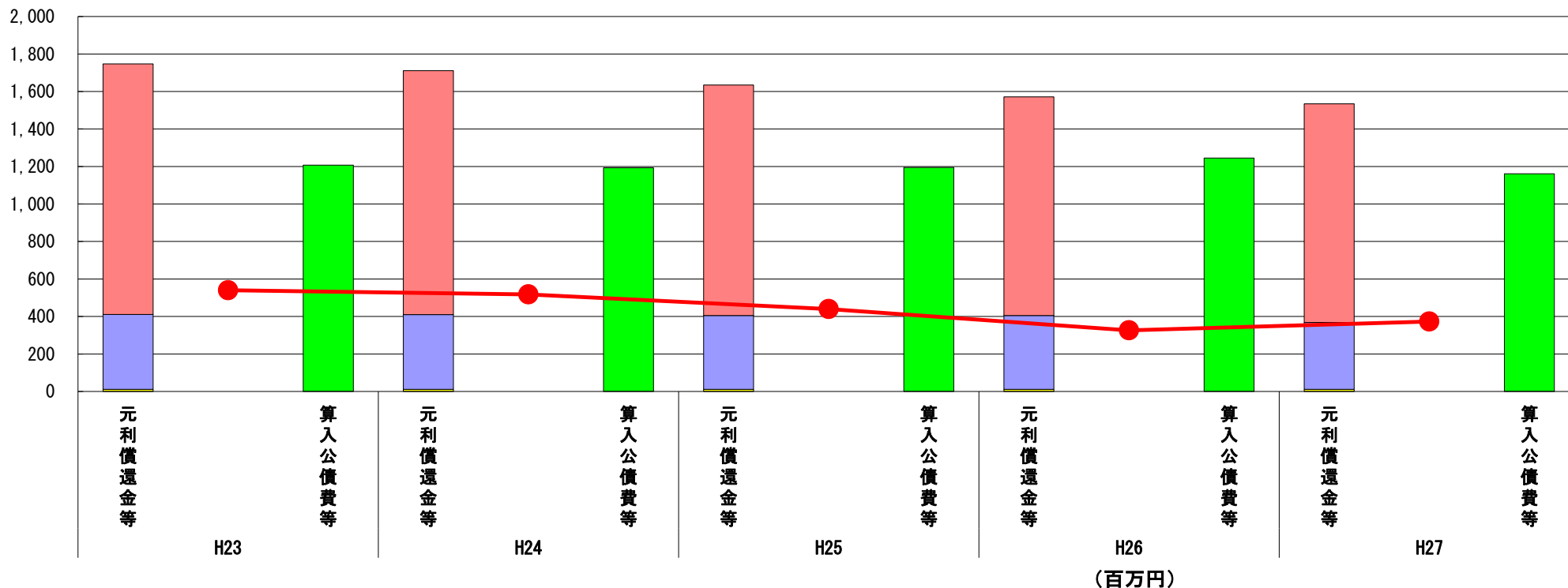


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

大阪府島本町

(百万円)



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等(A)	元利償還金		1,336	1,301	1,230	1,166	1,166
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		400	399	394	394	357
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		11	11	11	11	11
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,207	1,193	1,195	1,245	1,161
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		540	518	440	326	373

分析欄

過去に高金利で借り入れた町債は完済してきているものの、臨時財政対策債の元金償還が増加していることや、学校耐震化事業などの町債にかかる公債費の増加が見込まれるため、利率の状況を勘案し、基金の取り崩しと起債の抑制のバランスを見極めつつ、公債費負担の軽減に努める。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。